

# 百選認定地紹介ページの見方

県内7エリア別の地域区分

百選の認定地名  
・百選認定地は、原則「大字」を単位として設定しています。

市町名

とちぎの田園ふるさと風景百選

7 逆面町

**逆面エコ・アグリ**  
逆面地区では、エコロジー（生態系）、アグリ（農業）、里（人とのふれあい）をテーマとした「逆面エコ・アグリ」が結成され、豊かな自然を育む取組を通じた地域づくりが進められています。



**初夏の田んぼの風景**  
逆面の里山を映す田んぼの風景は、生態系の保全に裏付けされた美しく豊かな農村景観です。



**ふくろうの営巣**  
「逆面エコ・アグリ」では、里山に巣箱を付けるなどフクロウの営巣環境の拡大に向けた活動が行われています。



**応募写真のタイトルと説明**

**逆面獅子舞**  
疫病の厄払いと作物の豊作を祈願し、毎年8月、逆面獅子舞が白山神社に奉納されます。獅子は3頭で、笛の音とともに勇壮に変化に富んだ舞が披露されます。



**応募写真**  
・百選認定地の応募写真の一部を掲載しています。

**アクセスマップ**  
・緑色の区域が、百選認定地のエリアです。



**地域情報**  
・百選認定地の特色ある地域情報を掲載しています。

宇都宮市の中心部から北へ車でおよそ15分にある逆面町。緩やかな丘陵地が広がる田園地帯で、中央には山田川が南流しています。この地区では、地域のシンボル「フクロウ」を核とした農村環境の保全やブランド農産物「フクロウ米」の栽培など、様々な地域おこしの活動に取り組んでいます。



## 河内地域



### ● 宇都宮市

- 1 上籠谷町
- 2 刈沼町
- 3 古賀志町
- 4 下砥上町
- 5 徳次郎町
- 6 平出町
- 7 逆面町
- 8 下ヶ橋町
- 9 白沢町

### ● 上三川町

- 10 五分一



とちぎの 田園 風景 百選  
ふるさと

かみこせりやまち  
1 上籠谷町



咲き誇る黄花コスモス

地域ぐるみの活動により農道に黄花コスモスが植栽され、美しい農村景観が創り出されています。



ほのぼの牧場

栃木県農業大学校敷地内のほのぼのとした放牧風景です。奥には、戦時中に使用された飛行機の格納庫(掩体壕)が写っています。



花で潤う清南大地

遊休農地の一面に植栽されたミックスフラワーが美しく咲き誇り、多くの人々を魅了しています。



風景映画のワンシーン

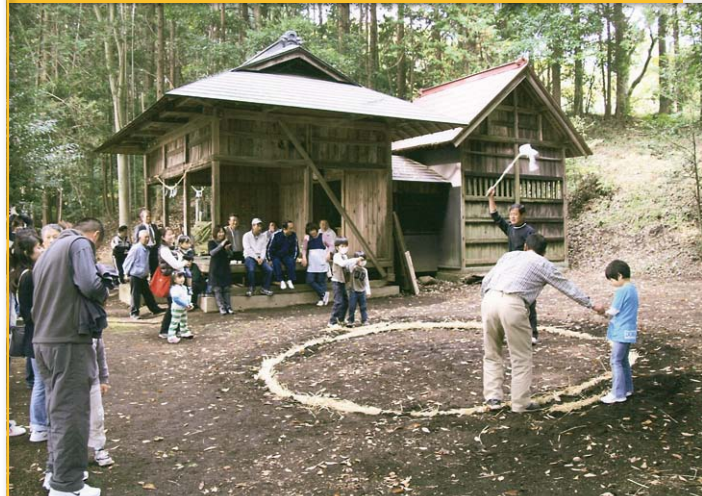
カバープランツの「イワダレソウ」と塀に咲く松葉菊とのコントラストが見事な光景です。



宇都宮市の中心部からおよそ 10 km 東に位置する上籠谷町。鬼怒川左岸の河岸段丘に広がる畑作地帯では、梨、トマトなど様々な種類の果樹や野菜が栽培され、京浜市場などに出荷されています。この地域では、観光農園による都市と農村の交流など、創意に富んだ様々な取組が行われています。

かりぬままち  
2 刈沼町

とちぎの 田園 風景 百選  
ふるさと



子供相撲

清原地区では、十数年ぶりに子供相撲が復活し、農村と新興住宅団地との交流が図られています。

刈沼桜

静かなため池の水に映る桜はその歴史を物語っています。刈沼の堤は明治時代に造られました。以来、刈沼桜はこの風景を守り続けています。



黄金の波

黄色く実った稲穂が黄金の波のように風にそよぐ光景は、生活に密着した日本の原風景です。



宇都宮市の中心部から東へ約 9 km にある刈沼町。この地域では宇都宮テクノポリスセンターの整備が進められており、新興住宅が急増しています。明治時代には、地区北部の「刈沼」近くから湧き出る鉱泉を利用した温泉施設があり、「湯場」とも言われていました。



3 古賀志町

孝子桜と子供たち

城山西小学校の校庭の真ん中に佇む樹齢約400年の「孝子桜」(こうしざくら)は、荘厳かつ優雅なしだれ桜です。この桜を中心として、美しい田園風景や地域コミュニティを守り育てるための様々な取組が行われています。

古賀志山と田園の春



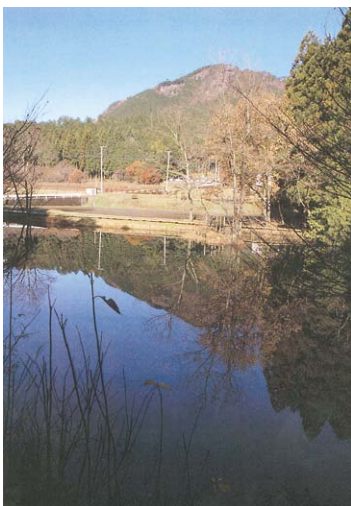
古賀志山麓の田園と桜の風景

古賀志町の山里には一本桜の古木が多く、田園に映えるその姿は農村の原風景ともいえる素晴らしい光景です。



唐沢溜に映る古賀志山の冬

地域活動によって作られた展望台から冬の唐沢溜を望んだ風景です。



県中央部、宇都宮市の北西端に位置する古賀市町。県立自然公園「古賀志山」の山麓に抱かれた自然豊かな集落です。桜が見ごろとなる4月には、地域のシンボル「孝子桜」を咲かせる地元の小学校で「古賀志の孝子桜まつり」が開催され、毎年多くの人たちでにぎわいます。



4 下砥上町

“さなぶり”の済んだ水田

“さなぶり”は田植えが済んだお祝いで、皆でお酒を飲みごちそうを食べて、互いに田植えの労をねぎらいます。これには、田植えが無事終了したことへの感謝と、豊作の願いが込められています。



JR日光線と田んぼの初夏

JR日光線は、今や下砥上地域の田園風景に欠かせないものの一つです。



菜の花畑と屋敷林

遊休農地に栽培された一面に広がる菜の花畑と屋敷林は、どこか懐かしさを感じさせてくれる故郷の春の風景です。



代掻きの頃の日光連山

田植えを待つ風のない早朝の田んぼは、一面鏡のようです。そこから望む日光連山はまさに故郷の誇れる原風景です。

県中央部、JR 宇都宮駅からおよそ6 km西に位置する宇都宮市 下砥上町。地区の西端には栗谷沢を水源とする姿川が、また東端には鶴田川が南へと流れ、広大な水田地帯を潤しています。北部ではJR 日光線、榆木街道が地区を東西に横断しています。

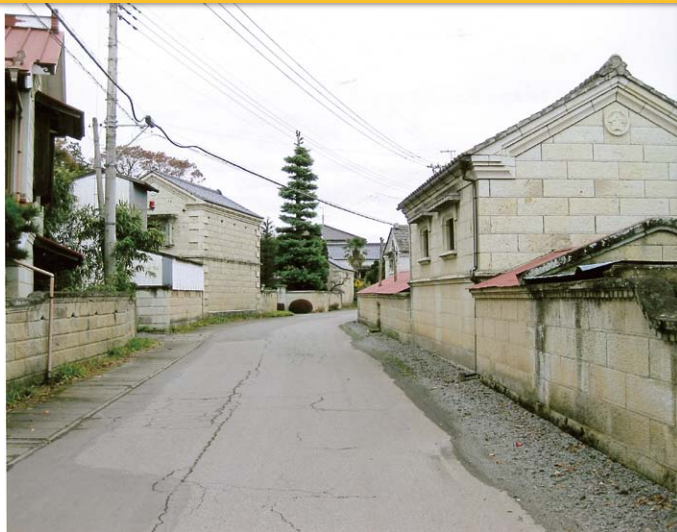




とくじろうまち  
5 徳次郎町

石蔵のある町並み

徳次郎町の富屋地区には、江戸初期から採石された徳次郎石の石瓦や石壁を用いた蔵や石塀が並ぶ歴史的な集落景観が今も多く残されています。



緑の屋敷林と農家住宅



石造りの長屋門



県中央部、宇都宮市の中心部から北へ約10 kmに位置する徳次郎町。地区の東側には田川が流れ、中央を日光道が縦断しています。江戸時代には日光街道 18 番目の宿場町「徳次郎宿」として栄えたこの地域には、「徳次郎六郷」と呼ばれる6つの集落があります。

ひらいでまち  
6 平出町



長屋門としだれ桜

平出町には、長屋門を構えた農家が今も数多くあり、白壁造りの美しい佇まいを見えています。

梵天奉納の風景

平出雷神社では、「豊作祈願」「五穀豊穡」を願い、毎年7月に梵天の奉納が行われています。この梵天奉納は、平石地区の各集落の氏子で代々引き継がれてきた伝統ある行事です。



県中央部、JR 宇都宮駅から約5 km東に位置する宇都宮市 平出町は、工業団地に隣接した都市近郊の農村地域です。鬼怒川右岸に開けた広大な田園地帯では、稲作や施設園芸が盛んに行われています。この地域では、休耕田を利用した環境学習会が開催されるなど、生態系の保全に向けた取組が進められています。



## 逆面エコ・アグリノ里

逆面地区では、エコロジー（生態系）、アグリ（農業）、里（人とふれあい）をテーマとした「逆面エコ・アグリノ里」が結成され、豊かな自然を育む取組を通じた地域づくりが進められています。



## ふくろうの営巣

「逆面エコ・アグリノ里」では、里山に巣箱を付けるなどフクロウの営巣環境の拡大に向けた活動が行われています。



## 初夏の田んぼの風景

逆面の里山を映す田んぼの風景は、生態系の保全に裏付けされた美しく豊かな農村景観です。



## 逆面獅子舞

疫病の厄払いと作物の豊作を祈願し、毎年8月、逆面獅子舞が白山神社に奉納されます。獅子は3頭で、笛の音とともに勇壮で変化に富んだ舞が披露されます。



宇都宮市の中心部から北へ車でおよそ15分にある逆面町。緩やかな丘陵地が広がる田園地帯で、中央には山田川が南流しています。この地区では、地域のシンボル“フクロウ”を核とした農村環境の保全やブランド農産物「フクロウ米」の栽培など、様々な地域おこしの活動に取り組んでいます。

## 芝桜通り

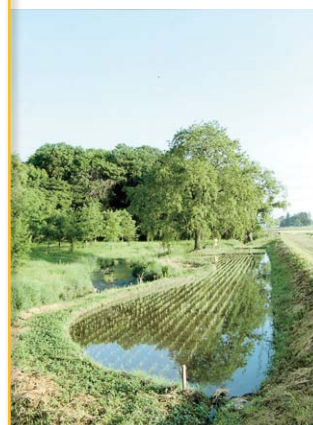
「生まれ育った故郷の思い出の風景に」と、水路の法面に植えられた芝桜が見事に咲き誇っています。

## 「ドンド焼き」で地域の絆づくり

地域の絆を深めるため、かつて盛大に行われていた「ドンド焼き」が復元されました。

谷川保全地の  
棚田風水田

昔ながらの水田耕作を継承するための演習田が谷川上流の保全地に造られました。



## 水田と緑の回廊

地域の緑地環境を守るため、ヤマボウシやエゴノキなどの木々が田園の中に植えられています。



宇都宮市の中心部から北におよそ10kmに位置する下ヶ橋町は、鬼怒川右岸の河岸段丘に広がる水田地帯です。長年にわたる水田の営みと、地区中央を流れる西鬼怒川、湧水を水源とする谷川などの豊富な水に恵まれ、この地域には今も豊かな自然が多く残されています。



とちぎのふるさと田園風景百選

9 白沢町

梵天祭りと地域の絆

白沢町の中央にある白鬢神社の秋の例大祭では、その年の五穀豊穡に感謝し、梵天が奉納されます。梵天を持った一行が神社へと続く88段の階段を一気に駆け上がる光景はまさに勇壮です。



白沢町の彫刻屋台

白沢町には、市の文化財に指定されている彫刻屋台が2台保存されており、5年に1度の宿場まつりでは地域内の巡行が行われます。



白沢公園

白沢公園では、地域の環境保全活動の拠点として、子どもたちや地域住民を対象とした環境体験学習などの様々な取組が行われています。



宇都宮市の中心部から車で15分ほど北にある白沢町。地区の東部には、鬼怒川沿岸の平坦な水田地帯が広がっています。江戸時代、奥州街道18番目の宿場町「白沢宿」が置かれたこの集落では、沿道沿いに水車が回り、民家には屋号が掲げられるなど、風情ある町並みを今に残しています。

10 五分一

とちぎのふるさと田園風景百選



田んぼが育む大白鳥との絆

冬の田んぼに水を張る「ふゆみずたんぼ」は、雑草・害虫の抑制や施肥効果のある環境にやさしい稲作農法です。ふゆみずたんぼでは、渡り鳥の白鳥が飛来するなど田と生きものの接点が多くなります。



県中央部、田川と武名瀬川に挟まれた上三川町五分一。縄文、古墳時代の遺跡が数多く残り、古き時代の暮らしの跡がみられる地域です。また、かつては多くの沼や淵があり、それらにまつわる伝説も残されています。今では地区の中央を新国道4号線が縦断し、車が忙しく行き交っています。